

## HRCG通信の創刊に寄せて 理事長・前田仁一郎

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。新型コロナウイルスの感染拡大は予断を許さない状況が続いており、北海道では再び厳しくなりつつあるように見えます。HRCGも、この春から公開講座を含む対外的な行事が全てキャンセルという事態になっており、大変残念なことに会員間の交流にも支障をきたしております。しかし、こんな「歴史的な事態」の中ではジタバタしてもしょうがありません。今年はいままでの約5年間の活動を振り返って今後の事業・活動を考えることとともに、会員間のつながりを弱くしないための方策をと考えておりました。会員交流会もその一環ですが、このたび、幹事会の案出として、このHRCG通信を皆さまにお送りすることになったのも、大変タイムリーなことだと思います。HRCG通信には地学の話題はもちろん、趣味でも何でも、友人に話してみたい話題、自慢したいことなど自由に投稿していただければ、HRCG通信は双方向的なツールとして役立つことと思います。是非ともご最頁に。次号では皆さまの話題を拝見したいと思います。皆さま、お元気で。(2020年11月10日)

### Zoom (ズーム) を使って交流会・研究セミナーに参加してみませんか？ 《幹事会内担当 関根 達夫》

HRCGには札幌圏外の遠隔地で、交流会や研究セミナーに参加が難しい会員がいます。Zoomを使えば遠隔地の会員もオンラインで交流会や研究セミナーに参加できます。

10/31に、ネット環境の無い「かでの27」の会議室から、Zoomのミーティングの開設が可能かをテストしました。スマホからテザリングでWi-Fi電波を発信して、ノートPCでZoomアカウントに入り、ミーティングを開設できることを確認しました。

※会場ごとのネット環境が異なるため、今後数回のテストを実施する予定です。

したがって、試行運用から正式運用への移行には暫く時間を要します。

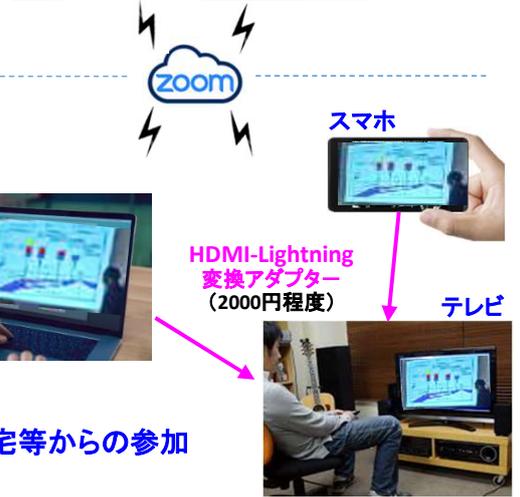
会員がZoomのミーティングに参加するには、インターネットの接続環境があれば可能です。必要な機器は、マイク、カメラ、スピーカーなどです。最近のノートPCやスマホには、それらの機器が内蔵されています。ただし、以前の機種やデスクトップPCでは別途、そろえる必要が出てきます。

予め、ZoomにサインインしてZoomのアプリケーションをパソコンにインストールしてあると繋がりやすい。

Zoomは、数回、体験すれば覚えられますが、事前にZoomテスト接続会を開催し、すんなり参加できなかった人は、それぞれのパソコン環境が異なりますので、個別に練習した方が安心です。

withコロナでリアルな会議を開催が難しい状況です。最近の学会の発表会はオンラインでZoomやYouTubeを使ったものが増えています。

この機会にZoomを使ってみましょう。 ※office@hrcg.jp 宛にお問い合わせください。



自宅等からの参加

### ■ 総合地質 について (裏面に、既刊号の目次を紹介しています)

総合地質 (General Geology) は北海道総合地質学研究中心から発行されるアクセスフリーの学術雑誌 (オンライン版 ISSN 2433-7161, プリント版 ISSN 2435-2187) です。会員以外の方からの投稿も積極的に歓迎いたします。投稿を希望される方は 総合地質 の投稿規則 [PDF link] と原稿整理カード [PDF link] [Microsoft Word docx version] をご覧ください。

### ■ 総合地質 プリント版

残部がある場合に限り、総合地質 プリント版を実費で頒布しています(1冊 1,000円)。office@hrcg.jp 宛にお問い合わせください。

<p>総合地質 General Geology Vol. 1 No. 1</p> <p>編集委員会の開催と本誌について</p> <p>巻頭言 Editorial: An Acknowledging of a new journal period General Geology Akihiro Matsuda</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p> <p>日本地質学会の活動とオンライン版の刊行 日本地質学会 The Japanese Geologists' Association Takashi Kato</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p>
---

1巻 1号 2017年12月15日発行

編集委員会  
委員長：君波和雄  
他委員：3名

<p>総合地質 General Geology Vol. 2 No. 1</p> <p>巻頭言 Editorial: An Acknowledging of a new journal period General Geology Akihiro Matsuda</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p> <p>日本地質学会の活動とオンライン版の刊行 日本地質学会 The Japanese Geologists' Association Takashi Kato</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p>
--

2巻 1号 2018年10月25日発行

編集委員会  
委員長：君波和雄  
他委員：3名

<p>総合地質 General Geology Vol. 3 No. 1</p> <p>巻頭言 Editorial: An Acknowledging of a new journal period General Geology Akihiro Matsuda</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p> <p>日本地質学会の活動とオンライン版の刊行 日本地質学会 The Japanese Geologists' Association Takashi Kato</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p>
--

3巻 1号 2019年9月20日発行

編集委員会  
委員長：君波和雄  
他委員：5名

<p>総合地質 General Geology Vol. 4 No. 1</p> <p>巻頭言 Editorial: An Acknowledging of a new journal period General Geology Akihiro Matsuda</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p> <p>日本地質学会の活動とオンライン版の刊行 日本地質学会 The Japanese Geologists' Association Takashi Kato</p> <p>北海道地質学研究会の活動とオンライン版の刊行 北海道地質学研究会 Hokkaido Geology Research Association Daisuke Sugawara</p>
--

4巻 1号 2020年10月20日発行

編集委員会  
委員長：宮下純夫  
副委員長：岡 孝雄  
他委員：4名

# 総合地質

## General Geology

### 総合地質 1 巻 1 号 2017 年 12 月 15 日 発行 ISSN 2433-7161

総合地質の創刊にあたって	i
前田仁一郎	
<b>論説</b>	
・北海道東部湧洞沼北東方のチョウブシ層の地質年代	1-6
嵯峨山 積	
・日高火成活動帯北部の高 Fe/Mg 侵入岩類の K-Ar 全岩年代	7-14
前田仁一郎・米山 悟・中田 周平・松田 岳洋・山下 康平	
<b>総論</b>	
・沈み込むスラブの垂直切断	15-34
君波 和雄	
<b>報告・資料</b>	
・札幌の失われた川を尋ねて—「水の都」札幌—	35-45
宮坂 省吾	
・サハリン島スミルヌイフ（気屯）西方丘陵の上部新生界	46-70
岡 孝雄	

### 総合地質 2 巻 1 号 2018 年 10 月 25 日 発行 ISSN 2433-7161

<b>論説</b>	
・北海道札幌市東区のボーリングコアにおける上部更新統～完新統の堆積環境と層序	1-11
嵯峨山 積・佐藤 明・井島 行夫・岡村 聡	
<b>アイデア</b>	
・堆積物に乏しい海溝から富んだ海溝への転換：白亜紀四万十帯を例にして	12-19
君波 和雄	
<b>報告・資料</b>	
・サハリン島マカロフ（知取）北方地域の上部新生界	20-58
岡 孝雄	
<b>論文紹介</b>	59-60

### 総合地質 3 巻 1 号 2019 年 9 月 20 日 発行 Online : ISSN 2433-7161 Print : ISSN2435-2187

<b>論説</b>	
・完新世海面変動と珪藻分析による塩分指数の関係：沖積層ボーリングの例	1-9
嵯峨山 積	
<b>総説</b>	
・北海道-サハリンの始新世火成活動は海嶺沈み込みに起因するか？	10-30
君波 和雄・池田 保夫	
<b>報告・資料</b>	
・豊平川沿いの新第三系層序、藻岩山の形成史および小金湯産カイギュウ化石	31-55
岡 孝雄・古沢 仁・岡村 聡・青柳 大介・重野 聖之	
<b>自由投稿</b>	
・札幌の失われた川を尋ねて	56-59
宮坂 省吾	
<b>論文紹介</b>	60-63

### 総合地質 4 巻 1 号 2020 年 10 月 20 日 発行 Online : ISSN 2433-7161 Print : ISSN2435-2187

<b>論説</b>	
・古俱知安湖の検証：北海道俱知安町の後期更新世堆積物の微化石分析	1-7
嵯峨山 積・関根 達夫・星野 フサ	
・北海道札幌市北区の上部更新統～完新統ボーリング層序；札幌扇状地堆積物の基底年代と MIS 5a の海面高	9-18
嵯峨山 積・井島 行夫・岡村 聡・阪田 義隆	
<b>報告・資料</b>	
・インド・デカン高原をたずねて—2020 年 3 月インド訪問報告	19-26
山岸 宏光	
・韓国 Jeju 島のジオパークを訪ねて—2019 年第 12 回アジア地域応用地質学会 (12th_ARC of IAEG, 2019) に参加	27-34
山岸 宏光・Dou Jie	
<b>自由投稿</b>	
・樽前山 1874 年噴火を見た人たち	35-42
宮坂 省吾	
<b>論文紹介</b>	43-49